

かまくらささえあい福祉プラン 腰越地区懇談会 議事録

日 時 平成 30 年 2 月 14 日(水) 14 時 00 分～15 時 30 分
会 場 腰越学習センター コミュニティ室
出席者 腰越地区 15 名
地域包括支援センター聖テレジア 1 名 聖テレジア第 2 3 名 曾根腰越支所長
推進等委員 川上委員長 国分委員 西崎委員
事務局 市社協 相川常務 内藤局長 山本主幹 堀井 梶田

腰越地区社協小川会長より挨拶
事務局より本日の出席者紹介及び懇談会の趣旨説明

議事概要

議題

- (1) 講演 地域共生社会づくりに向けて
資料に基づき講演 (川上先生)

議題

- (2) 意見交換

【発言概要】

- ・(良い点) 昨年 11 月より空き家を活用してかもめサロンをやっている。毎週水曜日の 10 時から 16 時で、利用料 100 円でコーヒーや紅茶を提供しているが、非常に好評。高齢者が単独や連れだつて来て、コミュニケーションをとっている。男性の参加が少ない。イベントとしてしめ縄作りを行っており、子どもと若いお母さんが参加され、地域の大きなネットワーク作りになっている。
- ・(悪い点) 年末に孤独死があった。入浴前後と思われる。刊行物が溜まっていたことで発見された。緊急連絡先が登録されているが、金庫に保管されている。個人情報の利用は難しい。

<川上先生> 男性は、困っている割に自分からつながろうとしない。

- ・スライド No.20 の地域課題の例に 8 個あてはまる。比較的豊かな地域なので、貧困の問題はないが、深刻な問題として自治会の担い手が高齢者しかいない。民生委員のなり手がいない。子供会、老人会が成り立たない。このままだと、地域、コミュニティが崩壊すると危惧している。ゴミ屋敷あるが、周りの人が見て見ぬふりをしている。自治会の存続、コミュニティの維持が一番の課題。

<川上先生> どこも同じような状況なのでしょうか？自治会のなり手はいませんか？

- ・いないから 12 年もやっている。
- ・現役世代は仕事が忙しい。子育て中のお母さんも忙しいと言う。断る理由はいくらでもある。
- ・七里ガ浜はご婦人方、リタイア世代、若手と 3 本構成で自治会を運営しており、若手が 1/3 いるが
バックアップも必要。一部空席もある。

<川上先生> 西鎌倉地区懇には赤ん坊を抱いた若い方が来られていました。

・先生の話はわかるが、行政から自治会に丸投げ。補助や協力が出てこない。行政がここまでやるからあなた方も協力してくれなら話はわかる。個人の拠出が多すぎるのは問題では？

<川上先生> 住民への期待が増えているが、人的支援は付いていない。地区社協を支援するための専門職の配置が地区担当制で必要だと思っている。住民に丸投げは良くない。

- ・役員のなり手がいない。何か方法はないか？
- ・隣近所でだれが住んでいるかわからないところがある。それをどうしたら見えるようになるのか？
- ・垣根も、心の垣根もあるから難しい。あいさつもしない。回覧板を持って行って話しかけてみれば？包括に情報集まっている。民生委員なら情報を集めて訪問してみても良いのでは？
- ・マンションはオートロックだし、問題ないと言われたし、ぜんぜんわからない。災害時の申込みを確認する程度。
- ・高齢の親と子どもの二人暮らしで、朝から言い争う声が聞こえる。親が認知症のようでもめている。また、独居の男性がいなくなり、みんなで一緒に探した。救急隊に連絡したが、個人情報も教えてくれない。警察でやっと教えてくれた。

<川上先生> 情報共有が進まないですね。後から訴えられるかも知れないと思うと、だれも教えたくないですね。防衛的になってしまう。個人情報は大きい問題ですね。

- ・七里ガ浜の空いた家に若い世代が移り住んできた。ベンチャーの起業家やフレックスタイムを導入されているようで、経済的、時間的余裕がある。そういう方に呼びかけて、自治会に相当数入った。経営者の発想の方が多く、いろいろな発想が出てくる。もっと若い世代を参画させることで、将来につながっていく。現職が「自分たちがやるからいい」ではなく、若い人を引っ張っていかないと、尻すぼみになる。

<川上先生> 若い人が入ってきてくれるというのは、地理的な魅力、鎌倉ブランドですね。強みです。

- ・商店が縮小、潰れている。住民は高齢化。小高い山に住んでいる住民が、買い物に困っている。助け合いも必要だが、記憶がおぼつかない方もいるし、寒い時期で外を歩いている人も少ない。個人情報も大切だが、顔見知りや、気配りをする人が大切。
- ・町内会長 12 年目。なり手がいないので、14 組の組内から選出することにした。個人的に当たるのは限界。任期は 2 年。先々もこのシステムの方が良いので進めてきた。

<川上先生> 他の組も 1 本釣り方式ですか？

- ・65 歳未満で年金をもらっていないからできないと言われる。自分は現役時代からやってきたのに。
- ・会長をやるなら役員をやらないと言われる。
- ・問題の家庭があって、行政の世話にならないと言っているけど、いずれは世話になるのだから、会長の説得力をいかに大切にしていかが課題になってくる。

<川上先生> 世話になったとしても、行政も 24 時間付き添ってくれるわけではない。公的サービスの限界もある。ひとり暮らしで、判断能力が低下して来て、問題がどんどん噴出してきてる中で、どうやって支え合いや見守りの仕組みを作っていくのが近々の課題だと思う。

- ・買い物に不便な方は、生協の個配を利用していないのか？
- ・健康の問題で歩いて買い物に出たほうが良い方もいる。注文に負荷がかかる方もいる。判断能力が十分でない方もいる。理解の出来る方は利用している方もいる。

<川上先生> 公的サービス、有料サービス、共助の関係といろいろあるが、ニーズも多様で、一

つだけ用意すれば良いという問題でもない。複数選択できる仕組みが必要。

- ・先ほどの、ベンチャー企業の方の話は面白い視点だと思った。
- <川上先生> 地域行事に若い人たちが参加しないのは、若い人たちのニーズに合っていない企画になっているのかもしれない。自治会の役員の中にも若い人たちの発想やアイデアをどんどん取り入れて、活動も時代と共に変わっていく必要があるのかもしれない。
- <包括>腰越アセスに参加して、休憩場所がないということでベンチを設置し、ハード面の充実を図った。他の地区のハード面やソフト面の課題をお聞きしたい。
- ・高齢者から坂道が大変だからとの声でベンチを設置したが、一方で、景観が悪くなるとの声もあった。
 - ・個人宅が使用しなくなった駐車場にベンチを置いて、どうぞご利用くださいという事例はある。ただ、ゴミや吸い殻の問題はある。道路許可や占有許可の問題もある。
- <川上先生> こういう話し合いの場を、これからは是非続けて行っていただきたい。腰越は鎌倉の中でも一番話し合いが進んでいると認識しているので、今まで以上に続けて行ってほしいし、そこで出た意見を、計画作りにも反映できれと考えています。

以上